

# 肥前さが幕末維新博覧会

そして今、  
佐賀は未来を見ている

今年、2018年は、明治維新150年の節目の年です。

幕末維新时期の佐賀は、西洋の学問や技術の積極的な導入により、国内最先端の科学技術を有し、日本の近代化をけん引する存在として、その動向が注目されていました。明治維新の鍵を握っていたとも言われる佐賀からは、稀代の名君と謳われた10代佐賀藩主・鍋島直正をはじめ、早稲田大学を創設した大隈重信や北海道開拓の父と呼ばれる島義勇、東京駅を設計した辰野金吾など、新しい国づくりに寄与した偉人たちが数多く輩出されました。

こうした偉業や偉人たちを顕彰し、その志を今に活かし未来につないでいくため、「肥前さが幕末維新博覧会」を開催しています。日本初の鉄製大砲や実用蒸気船をつくり上げた高度な「技」とその技術を支えた「人」、そして、その礎となった「志」。これらを最新の映像技術などで体感できるテーマ館のほか、世界に誇る有田焼などの器で、一流のほか、世界に誇る有田焼などの器で、一流の料理が味わえるイベントや、県ゆかりの世界的アーティストの展覧会など、佐賀県の歴史・食・文化・アートを楽しめる博覧会です。



先人たちが築いた佐賀の礎。明治維新150年を機に、その志を今に伝えながら、ふるさとへの誇りや愛着を持つ人づくりや、地域経済の活性化などにつなげていきたいと考えています。



△「ユージアム サガ」の料理  
シェフの料理が味わえるイベントや、県ゆかりの世界的アーティストの展覧会など、佐賀県の歴史・食・文化・アートを楽しめる博覧会です。



△博覧会のメインパビリオン幕末維新記念館  
©Hideki Mizuta



△幕末維新記念館(「幕末維新」体感シアター)  
©Hideki Mizuta

## オランダハウス 未来に向けた オランダとの交流

2016年、駐日オランダ王国大使館と佐賀県が「クリエイティブ連携・交流協定」を締結して以来、その交流は着実に進展しています。

有田で始まったアーティスト・イン・レジデンスをはじめ、ジャズコンサートやクラシックコンサートなど、県内でオランダ人アーティストが活躍し、地域の人々と交流を深めています。スポーツ分野では、オランダの空手チームが、2020年東京オリンピックのラリンピックの事前合宿を佐賀県で行うことを見事に決まり、空手チームや女子野球チームが、佐賀のチームと一緒に強化合宿を行うようになりました。

そして、今年、オランダと佐賀の未来に向けた



△オランダハウス

農業は佐賀県の基幹産業です。米や佐賀牛をはじめ、いちご、たまねぎ、れんこん、ハウスみかんなど、世界に誇れる農産物が数多く生産されています。  
こうした佐賀農業をもっと知つてもらうため、明治維新150年を迎えた今年、「さが農業「歴史・未来」展」を開催します。今日の佐賀農業を築いた先人の功績を礎にして、未来にはばたく佐賀農業を見て、触れて、感じることができ、子どもから大人まで楽しめる体験型の企画展です。  
ぜひ、佐賀農業の未来を体感してください。

ここでは、オランダ人クリエイターによる展示会やアーティスト・イン・レジデンス、オランダ伝統の味を再現したカフェのほか、「水辺」でのアクティビティなどを実施。

オランダと佐賀を語り、佐賀に居ながらオランダを身近に感じてもらうことで、オランダとの絆を強くしていくます。

- アーティスト・イン・レジデンスとは、招へいされたアーティストが、一定期間滞在し、地域と交流しながら創作活動を行うことです。



△ダッチギャラリー  
△SUGAR ROAD MARKET

△ダッチギャラリー  
△SUGAR ROAD MARKET

● アーティスト・イン・レジデンスとは、招へいされたアーティストが、一定期間滞在し、地域と交流しながら創作活動を行うことです。

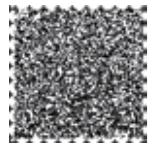


△ドローンによる作業

**i さが農業「歴史・未来」展**  
会期:平成30年11月下旬~12月中旬  
会場:幕末維新記念館(市村記念体育馆)横の特設会場

詳しくは

【オランダとの交流】国際課 ☎0952-25-7328 ☐kokusai@pref.saga.lg.jp  
【農業展】農政企画課 ☎0952-25-7587 ☐nouseikikaku@pref.saga.lg.jp



詳しくは

肥前さが幕末維新博事務局 ☎0952-25-7504 ☐sagaishinhaku@pref.saga.lg.jp  
http://www.saga-hizen150.com (さが維新博) Q

